

アパグループ 広島駅周辺で本年3棟目のホテル開発計画を発表

アパホテルネットワークとして全国最大の707ホテル107,789室※(建築・設計中、海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開する総合都市開発のアパグループ(本社:東京都港区赤坂3-2-3 CEO:元谷 一志)は、広島駅周辺に本年3棟目のホテル開発用地を取得した。

本案件地は、JR山陽本線、山陽新幹線、芸備線の複数路線が利用でき、広島市内各所へアクセスが可能な路面電車やバス交通のターミナル拠点となっている「広島駅」の北側に位置する。広島県は、中四国地区最大の都市としてビジネス需要が旺盛で、国内の観光需要を見込めるだけでなく、欧米圏からの訪日外国人にも人気が高いエリアである。また、広島県内で現在運営中である2棟・818室のホテルの稼働も好調であることから、今後の更なる集客を期待し、ホテル運営・人員効率の向上を踏まえたドミナント戦略(集中出店)により、交通の要所となる「広島駅」周辺を重点エリアと位置づけた。既に発表済の計画と合わせ、本年、3棟・1,136室のホテル出店計画を発表した。尚、本計画により広島県内では全5棟・1,954室の展開数となり、広島県内での総客室数はトップとなる。今後も、全国的に需要が見込めるエリアにおいては、ホテル運営・人員効率の向上を踏まえたドミナント戦略を積極的に行いながら、アパホテルネットワークの拡充を強化していく。

【本年取得した広島市内新規計画中ホテル】

ホテル名(仮称)	所在	客室数	開業予定日
アパホテル<広島駅新幹線口> ※2022年10月20日付ニュースリリース	東区上大須賀町2番3他	294室	2024年夏
アパホテル<広島駅スタジアム口> ※2022年9月13日付ニュースリリース	南区荒神町1番2他	242室	2024年秋
アパホテル&リゾート<広島駅前タワー> ※2022年8月5日付ニュースリリース	南区松原町679番11他	600室	2026年春

【広島市内既存ホテル】

ホテル名	住所	客室数	開業日
アパホテル<広島駅前>	南区松原町10-11	91室	2008年12月19日
アパホテル<広島駅前大橋>	南区京橋町2-26	727室	2016年10月6日

アパグループはホテルネットワークとして全国最大の707ホテル107,789室※(海外、FC、アパ直参画ホテルを含む)を展開している。2010年4月にスタートした「SUMMIT5(頂上戦略)」を継承し、2022年4月より新たな5ヶ年計画「AIM5~APA Innovative Movement」を始動。アフターコロナにおけるニーズの変化やDX化の波を捉えながら、国内で圧倒的なNo.1ホテルチェーンとなるべく、2027年3月末までにアパホテルネットワークとして15万室展開を目指す。 ※建築・設計中含む

■お問い合わせ先 ※写真データ等必要な場合はメールにて送信します

アパグループ東京本社 会長室

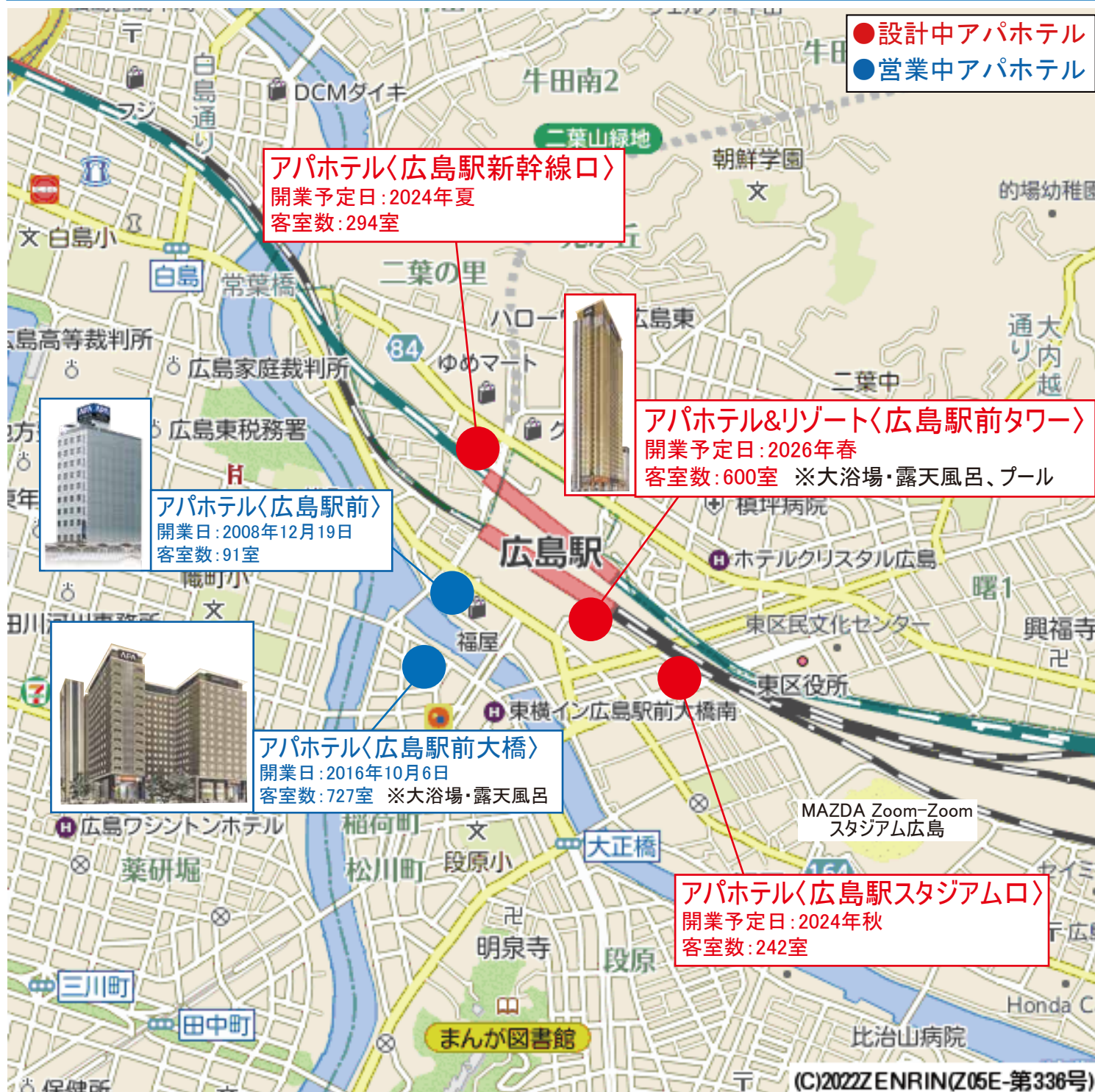
住所：東京都港区赤坂3-2-3

電話：03-5570-2113 FAX：03-5570-2138

E-Mail：sec@apa.co.jp URL：www.apa.co.jp

アパグループ 広島エリアMAP

広島市内展開ホテル棟数・客室数：5棟・1,954室
 (営業中ホテル：2棟・818室・設計中ホテル：3棟・1,136室)



アパ直参画ホテル 広島県内 9棟・745室

(広島市)

・セジュールイン流川(60室)

・セジュールフジタ(60室)

・ひろしま国際ホテル(76室)

・ホテル広島サンプラザ(54室)

・トラストホテル(109室)

・サンチャゴホテル(76室)

(福山市)

・福山オリエンタルホテル(123室)

・福山プラザホテル(124室)

(東広島市)

・ホテルヴァンコーネル(63室)